



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター

電話：072-838-0400

URL <http://www.neyagawa-shakkyo.or.jp>

ホームページ ツイッター インスタグラム

FB

上記の QR コードを携帯電話やスマートフォン等から読み取ると、本会の各 SNS ページにつながります。

# リモート会議を体験



## ～ボランティア部会長会～



**写真丸**=別室で  
発言する部会員

←壁に写し出された画像に「わあ～」の歓声が上がり、3者での模擬会議は順調に進行されました＝  
市立保健福祉センター

10月のボランティア部会長会（市内24校区ボランティア部会代表で構成）は、コロナ禍のため恒例の管外研修を中止して、「オンライン会議の体験学習」に切り替えました。

10月27日、3つの部屋に分かれて、各部屋スマートフォン使用での会議形式で実施。担当職員より設定の説明を受けながら、リモート作業が始まりました。

未経験とすでに経験した部会長の集まりは、賑わいながらの学習会になりました。

このオンライン模擬会議に参加しての感想もたくさん寄せられました。

○思ったよりよく聞こえ、画面も鮮明ですね

○撮影時の目線をどこにもって行くのか、チョット戸惑いが

○話の途中で、発言がかぶりますね  
○できることなら、対面会議がええよね  
○私たちの年齢（50～70歳くらい）になるとねえ

○終息の予測しづらいコロナ禍中にあって、いざというときのために、有意義な体験学習会になりました

いずれの校区部会でも、活動休止や縮小のしいられる中、1日も早いコロナ禍の終息を願いながらの閉会になりました。



マスク着用、座席の間隔と  
つて実施された部会長会

# 夢 手 写 仏 愛 好 会

## 写仏を通して子供や障害者、高齢者をいたわる気持ち みんなが明るく笑顔で暮らせるまちづくりがしたい 写仏愛好会

「これから描かせてもらいます」と手を合わせ気持ち集中。仏様や七福神、歌舞伎など好きな下絵に薄紙を重ね、その上を小筆でなぞる。墨がポタっと紙面に落ちるだけで失敗。気の抜けない一線ごとの緻密な作業。

気持ちが途切れるとなごやかな雰囲気で仲間と語り合う楽しい時間。「描いていると心安らかになるんですよ」「先生がいつもほめてくれるから嬉しい」と活動者の声。叱られては伸びない、どこが悪いかは自分



ボランティアセンターで活動中の皆さん

でわかるからと【褒めて伸ばす】が信条の長島先生の下、約30人の会員と市内4か所で毎週活動。高齢者施設への定期訪問やコミセンでの体験会を開催されています。

(尾崎)

### 福祉用語の小窓 社会福祉

広義では、社会全体の幸福・繁栄の意味であり、歴史的には、慈善、社会事業がその先行概念とい

える。時代立場、人によって様々な定義づけがなされている  
「介護支援」HPより

## 元気いっぱいのボランティア



高齢者施設で演奏中の菅原さん

アコーディオンに出会ったのは20年ほど前のことです。その後、すばらしい先生に出会い、その先生から「人前で弾くことがうまくなる秘訣だよ」との教えを受けました。

いつまでも皆さんと一緒に

菅原史子さん

～個人登録ボランティア～

ちょうどその頃、寝屋川市内の施設でボランティアをしてくれるを探しているとの広報を見たことで、出前演奏が始まりました。聞いてくれる人、歌ってくれる人が楽しいときはこちらも楽しくなります。

最近はコロナの影響もあり、演奏に出かけることも少なくなりましたが、それでも依頼を受けた施設などへは出かけています。これからも元気に活動できる間は、いつまでも皆さんと一緒に楽しく歌う時間を過ごしていきたいと思っています。

**若い**

## ボランティア体験者からの贈り物

ボランティア活動を体験した若い世代の皆さんから届いた様々な思いをお届けします。

### 夏まつりのお手伝いをしました

昨年、夏まつりのお手伝いの時、最初は気を配りながら動いていましたが、時折子供と一緒になることがあります。暑いながらも楽しい時間を過ごすことができました。

働いているのでボランティア団体への登録はできませんが、少しでも関りができるたらいいと思います。（小学1・3年生の母）

### 自分の街を大切にしたい

「七中ボランティア隊」に何度か参加するうちに、ゴミのポイ捨てについて考えるようになりました。誰かがゴミを捨てる、それを見た誰かがまた捨てる。そうして悪循環となり、いずれ街がゴミであふれる。私は最初に捨てられるゴミを無くすことを中心がけたい、そして自分の街を大切にしたいと思うようになりました。

（中学3年生 男子）

### ボランティア活動で気付いたこと

「七中ボランティア隊」に参加して気付いたことがあります。何か見返りがあるから活動に参加するのではなく、人の助けになりたい、人の喜ぶ顔が嬉しかったり励みになるという気持ちがとても大きいのです。もっと多くの人がボランティアに参加して、同じ気持ちの人気が増えるといいなと思いました。

（中学2年生 女子）

### 喜んでもらえた喜び

親に頼まれてクリスマスの準備に参加しました。色紙や画用紙を切ったり折ったりしながら飾りを作りました。でき上がりを皆さんに喜んでもらえたのでうれしかったです。今は子供が小さいので、動きにくいですが、手が離れたころには、もっと活動してみたいです。（園児の母）



### うれしかった「ありがとう」の一言

高齢者等の擬似体験学習で、ボランティアで関わりました。

後日子供たちに会ったとき「あの時のおばちゃんや」「おばちゃん、福祉体験の時はありがとう」などの、言葉が何よりうれしかったです。（小学6年生の母）

### 「高齢者擬似体験で学んだこと」

○貴重な体験をさせていただきありがとうございました！今日やっとおじいちゃんおばあちゃんの気持ちが分かりました。これからも元気で健康でいてください！

○実際自分で使ってみると字を書いたりページをめくったりお金をつかんだりとすごく大変だなと思いました。これからは席を譲ったり、声かけをしようと思います。（小学6年生 男子・女子）

# 「寄せ植え」で楽しいひととき

## 登録Vグループ 「園芸福祉ボランティアらぶ」主催

登録ボランティアグループ「園芸福祉ボランティアらぶ」主催の【寄せ植え講座】が10月13日、市立保健福祉センターで開かれました。

3月実施の予定がコロナ禍の影響で2回の延期を経ての開催になりました。

この日は20人の参加で、四季折々の草花が寄せ植えに適しているのかなど基本的な説明を受け、いよいよ実習に。

植え方の適切な助言もあり、きれいな作品に仕上りました。



→ 植え方などの説明をするスタッフ  
← 寄せ植えに挑戦中の参加者



### ■ 口 ■ 参加者のこえ

○お花についてのわかりやすい説明がありましたので、うまく作業できました。

○寄せ植えは初めての体験でしたが、バランス良く植えられ楽しませていただきました。

○自分で植えるのは楽しいですね。ズーッときれいなお花を楽しめそうです。



## Go to 屋上庭園 ~来春予定~

毎年春と秋に開放している市立保健福祉センターの「屋上庭園」は、来年4月の開放に向けて今から準備を始めています。

今年は新型コロナウイルス感染予防のため中止になりましたが、来年は4月10日前後から予定しています。日程をお問い合わせの上ぜひお越しください。「園芸福祉ボランティアらぶ」より



きれいに手入れされた「屋上庭園」の花々は皆さまをお待ちしています